

東海ノア通信

[原子力事業所安全協力協定]

第6号(平成13年12月発行)
東海ノア協定事務局
(日本原子力研究所・東海研究所内)

Telephone: 029-282-5801

E-mail: t-noah@popsvr.
tokai.jaeri.go.jp

ホームページアドレス

<http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/>

東海ノア通信 第6号 をお届けします。

原子力事業所安全協力協定(東海ノア協定)は、2000年1月20日に締結され、まもなく3年目を迎えようとしております。この間、協定に基づく活動の定着化と広報に努めてまいりました。また、今年はホームページを開設することができました。今後も、協定加盟事業所間の協力のもと、実効性のある活動に取り組んでいきたいと考えております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページで紹介しております。
アドレスは、<http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/> です。

トピックス

活動状況

- ・ 第5回安全協力委員会の開催
- ・ 第14回活動推進幹事会の開催
- ・ 自主保安に関する点検協力活動
- ・ 安全教育に関する協力活動
- ・ 情報交換に関する協力活動
- ・ 緊急時に対応するための活動

加盟事業所からの紹介

今後の活動予定

東海 NOAH: 東海村(東海)、那珂町(N)、大洗町(O)、旭村(A)、ひたちなか市(H)

活 動 状 況

○ 第 5 回安全協力委員会の開催（平成 13 年 10 月 18 日）

主な議題（１）平成 13 年度上期活動状況報告と下期の活動予定

（２）「活動推進幹事会」幹事長及び副幹事長の再任報告

（３）その他



○ 第 14 活動推進幹事会の開催（平成 13 年 12 月 18 日）

主な議題（１）第 5 回自主保安点検協力活動の実施報告

（２）第 6 回自主保安点検協力活動の実施計画

（３）通報・招集訓練の実施計画

（４）第 2 回安全教育研修の実施計画

（５）東海ノア通信第 6 号の発行



第 5 回 自主保安点検協力活動

- ・実施日時 平成 13 年 11 月 14 日（水）10 時 00 分～16 時 30 分
- ・事業所名 東北大学金属材料研究所附属材料試験炉利用施設
（所在地：大洗町）
- ・点検協力者 3 名
放射線取扱主任者（所属：日本原子力発電株式会社）
核燃料取扱主任者（所属：核燃料サイクル開発機構）
防火管理者（所属：三菱原子燃料株式会社）
＊他 事務局 2 名
- ・項 目
 - 1) 安全管理の基本方針
 - 2) 施設内及び他社で発生した事故・トラブルの
水平展開
 - 3) 放射線管理、廃棄物管理
 - 4) 施設の安全管理状況
 - 5) 緊急時における対応体制、訓練
 - 6) 教育訓練
 - 7) 規定、規則の整備
 - 8) 緊急事態対応策の検討
 - 9) 現場巡視
- ・点検協力活動の様子



事業所の対応者（右列、手前）と意見交換を行う点検協力実施者（左列）



アクチノイド元素実験棟施設の説明を受ける点検実施協力者（手前）

○ 安全教育に関する協力活動

・ 加盟事業所の従業員等を対象とした安全教育研修の実施

日 時 平成 13 年 10 月 26 日 (金) 9 時 30 分 ~ 17 時 00 分

場 所 原研東海研究所 国際原子力総合技術センター

内 容 ・ 放射性物質の性質 (安全取扱、化学、物性等)
・ 核燃料の基礎的性質と臨界安全の基礎
・ 放射線の種類・測定と放射線防護の基礎
・ 実習 (各種放射線の測定)

受講者 14 名 (9 事業所)



← 講義の様子

放射線測定実習 →



・ 加盟事業所で企画主催する講演会等への参加

講演会「機械の包括的安全基準の動向と安全への取組み」

(平成 13 年 9 月 18 日、サイクル機構東海主催)

講演会「マシナリーからみた逆説的リスクマネジメント」

(平成 13 年 9 月 19 日、サイクル機構東海主催)

講演会「現場の立場から “ お客様の声は宝の山 ”

(平成 13 年 10 月 15 日、サイクル機構東海主催)

講演会「放射線安全の考え方」

(平成 13 年 11 月 15 日、三菱原子燃料主催)

講演会「原子力施設等における消防活動について」

(平成 13 年 12 月 10 日、原研東海主催)



← 三菱原子燃料株式会社
における講演会

原研東海研究所 →
における講演会



○ 情報交換に関する協力活動

- ・ 加盟事業所で主催する総合防災訓練の視察

サイクル機構大洗 主催（平成 13 年 10 月 25 日）

3 事業所から 4 名参加



- ・ 自主保安点検協力活動報告書の配信

協定加盟事業所に、随時、報告書を配信

- ・ 事故・トラブル情報の交換

高速実験炉「常陽」メンテナンス建家における火災発生について
（平成 13 年 10 月 31 日、サイクル機構大洗）

第 1 廃棄物処理棟地下灰取出室のグローブ破損について
（平成 13 年 11 月 21 日・30 日、原研東海）

J M T R 原子炉施設の計画外停止について
（平成 13 年 12 月 9 日・17 日、原研大洗）

東海第二発電所の出力低下に係る原因と対策について
（平成 13 年 12 月 25 日、原電東海）



緊急時に対応するための活動

○ 茨城県原子力防災訓練への参加協力

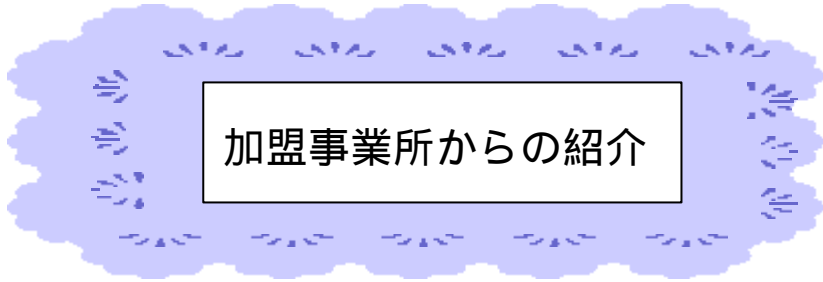
9月29日（土）に行われた原子力防災訓練において、東海ノアは「緊急時通信連絡訓練」に参加しました。

東海ノア協定に基づく緊急事態協力活動本部を原研東海研究所に設置し、茨城県災害対策本部情報班等から送信された事故情報、オフサイトセンター合同対策協議会決定情報及び茨城県災害対策本部決定情報を、協定加盟の21事業所に連絡しました。

○ 通報連絡訓練の実施

平成13年10月23日

- ・ 発災想定事業所：三菱原子燃料株式会社
- ・ 茨城県主導の無予告通報連絡訓練において、東海ノアへの協力要請が通告されました。



加盟事業所からの紹介

～ 当社の安全管理への取組みについて～

日本核燃料開発株式会社(略称：NFD)

当社は、昭和47年に(株)東芝と(株)日立製作所の共同出資により、両社の核燃料の研究開発部門を統合し、その有する人材、施設、資金の有効活用を図ることにより、安全な原子力発電を目指して核燃料のより一層の信頼性向上を目的として設立されました。

事業内容は、原子力発電所で使用したそのままの燃料集合体を取り扱える世界有数の大型研究施設である照射後試験施設(ホットラボ)、高性能な新型燃料開発のための燃料研究棟(ウランラボ)及び材料研究棟において、各種高性能の試験装置、測定器、分析機器等の設備と独自の技術開発により以下の研究開発等を行っています。また、海外も含めた研究機関との共同研究や、研究の受託も進めています。

* BWR 燃料の照射後試験

* 原子炉構造材料の研究、開発

* 照射後試験技術の開発

* 照射済み燃料・材料の輸送

会社運営にあたっては、安全の確保を第一に業務を遂行しており、これに関連して教育・訓練等を計画的に実施し、不断の努力をしているところであります。

以下に、安全管理における特徴の一端をご紹介します。

1) 「経営理念」と「安全理念」を携帯用力 - ド化&「安全理念」の石碑化

掲記の両理念を携帯用力 - ドにして全社員及び構内常勤の協力会社員に配布し、周知を図るほか、「安全理念の石碑」を構内のメイン道路に面した従業員が常に目にする場所に建立して、安全意識の高揚に努めています。

2) 「安全かわら版」

昨年から、本館及び施設建屋の入口に「安全かわら版」を設置し、災害事例、交通事故事例やヒヤリ・気掛かり提案運動の結果等々を掲示して安全上の注意喚起を行い、協力体制の維持と安全意識の向上に努めています。

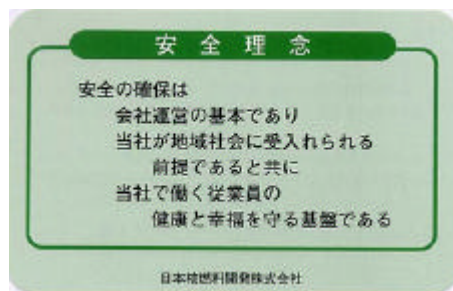
3) 「ヒヤリ・気掛かり提案運動」の実施

安全衛生年間活動計画において「ヒヤリ・気掛かり提案運動」を協力会社員と共に実施しています。これは、従業員・協力会社員がヒヤリハットを摘出し、事務局に提案、その事象を各担当部署が検討して所定の手続きを経て対策を講じ、その結果を安全衛生委員会に報告し、これを掲示板に貼るなどして情報の共有化を図っております。

4) 安全教育における工夫

各種安全教育後に、それぞれアンケートを実施し、受講者の理解度の確認と教材へのフィードバックに役立てております。

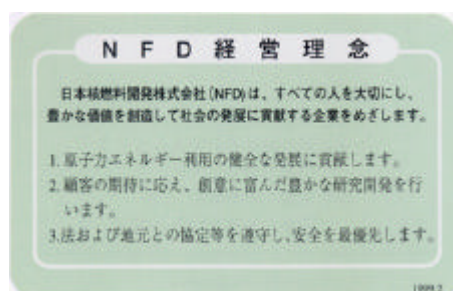
今後も、さらなる安全の向上を目指して、努力してまいります。



安全理念力 - ド (裏面)



「安全理念」石碑



表面に経営理念



安全かわら版

今後の活動予定

- ・ 通報・招集訓練 1 月
- ・ 平成 13 年度第 3 回自主保安に関する点検協力活動 ・ 1 月
- ・ 活動推進幹事会 2 月
- ・ 平成 13 年度第 2 回安全教育研修 2 月
- ・ 安全協力委員会 3 月

編集後記

東海ノア通信も第 6 号を発行する運びとなりました。

東海ノア通信の目的である「情報の交換、共有化」という観点から、
有益な情報をお待ちしております。

東海ノアに関するご要望、ご質問等についても事務局までお寄せ下さい。

(東海ノア協定事務局)